

令和4年度中山恒三郎家公開事業について

1 主催等

主催 (公財) 横浜市ふるさと歴史財団 (横浜開港資料館・横浜市歴史博物館・横浜都市発展記念館)
共催 (有) 中山松林甫

2 日程

11月26日(土)・27日(日) 10:00~15:00

※このうち11月26日(土) 10:00~12:00は、川和町内会向けの見学時間とします。

3 会場

都筑区川和町890 中山恒三郎家

4 主旨

中山恒三郎家は、都筑区川和において江戸時代から酒類販売と、荒物雑貨や呉服織物を扱う商売を手掛け、明治時代には醤油醸造、また煙草や塩の販売、製糸業など家業を広げてきた旧家です。商売の一方で養菊にも力を注ぎ、明治時代末には1500種の菊を栽培したと伝えられています。自宅に設けた菊園「松林圃」で行われた観菊会は皇族や各界の著名人からも注目を集め、「川和の菊」として広く知られることとなりました。

川和の歴史を伝える中山家の膨大な資料は、現在横浜開港資料館と横浜市歴史博物館で整理を進めています。また平成30年(2018)には敷地内の書院と店蔵が「横浜市認定歴史的建造物」になり、諸味蔵と麴室、八号蔵が歴史的建造物の外構部分と位置付けられました。

この地域の歴史を伝える文化遺産である中山恒三郎家の建物と、整理を進めている資料の一部を公開し、川和町や都筑区の方々に親しんでいただくとともに、川和地域の魅力の発信に繋げていきます。

5 公開施設及び内容

書院	内部見学及び書画や古文書によるミニ展示の見学
諸味蔵	内部見学及び民俗資料の整理状況の公開
店蔵	(外観見学)
麴室	(外観見学)
8号蔵	(外観公開)

6 関連事業

公開講座	演題 「書画に足跡を残した松林圃の賓客」
	講師 相澤雅雄氏 (地域史研究家)
	日時 11/27 (日) 10:30~12:00
	会場 川和町内会館 定員 60名

※新型コロナウイルス感染症の状況により、行事の中止もしくは内容を変更することがあります。